

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	3970101923
法人名	有限会社 ケアコミュニケーション
事業所名	グループホーム ぐりーんはうす
訪問調査日	平成 20 年 3 月 4 日
評価確定日	平成 20 年 6 月 13 日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

○項目番号について
 外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。
 [取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みません。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	3970101923		
法人名	有限会社 ケアコミュニケーション		
事業所名	グループホーム グリーんはうす		
所在地 (電話番号)	高知市瀬戸2丁目13番47号 (電話)088-841-7005		
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成20年3月4日	評価確定日	平成20年6月13日

【情報提供票より】(平成20年2月20日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成17年7月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18人
職員数	19人	常勤	13(内兼務2)人、非常勤6人、常勤換算13人

(2)建物概要

建物形態	併設/ 単独		新築 /改築	
建物構造	木造 造り			
	2	階建ての	1	階 ~ 2
				階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	32,000~35,000円	その他の経費(月額)	18,000円	
敷金	有()円 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	250円	昼食	350円
	夕食	350円	おやつ	50円
	または1日あたり 1,000円			

(4)利用者の概要(3月4日現在)

利用者人数	18名	男性	2名	女性	16名
要介護1	5名	要介護2	8名		
要介護3	1名	要介護4	2名		
要介護5	2名	要支援2	0名		
年齢	平均	85歳	最低	70歳	最高
					95歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	長浜病院 ・ オザ力歯科
---------	--------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

「私は私らしくいつも笑顔で日々暮らしたい」という職員と利用者の思いが、事業所の雰囲気から窺える。共に過ごし支えあって暮らしている姿勢が、普段のコミュニケーションの中に現れており、利用者に対する理解の深さが見受けられる。介護計画には本人、家族の要望や意向が判りやすく反映され、職員間の情報の共有もできている。今後、交通安全教室、小学校との交流の復活、看護学校生の実習受け入れなど、地域との交流及び連携を益々深めることを期待したい。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 前回の評価での改善課題については、改善計画は作成していないが、各ユニットで報告し、話し合いを行い、外部項目の3、48、61、64については改善している。その他の課題についても現在取り組み中である。
	②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 運営者、管理者、職員全員で取り組んでいる。
重点項目	③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4、5、6) 事業報告、運営内容、外部評価などをホームから報告し、出席委員からは事業所に対する要望や質問が出され、双方向的な会議となっている。
重点項目	④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7、8) 意見箱には苦情は投函されていないが、来訪時や電話で、職員の異動や電話の取り次ぎ方など、要望や意見が寄せられている。これらに対しては、その都度カンファレンス等で話し合い、検討して、運営に反映している。
重点項目	⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 自治会には加入していないが、民生委員からの声掛けや情報入手により、夏祭りへの参加、ドロンコ祭りの時の来訪など、利用者が喜び楽しむ場面づくりをしている。事業所近辺の地域住民に高齢者が多く、リサイクルや清掃活動などへの参加者が少なく、地域の活動が活発に行われにくい状態になっているとのことであるが、自治会に加入するなどして積極的に地域との連携を図ることを期待したい。

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所独自の理念がある。 <input type="checkbox"/> これまでの理念に加え、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容である。	○	地域密着型サービスとしての役割を目指した内容を加味した理念を、早急に作成することを期待する。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 職員間では、毎日のミーティングや毎月のフロア会で話し合い、施設長からは、全体会などで折に触れ話をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 秋祭りに利用者が参加したり、ドロンコ祭りには主催者が来訪し利用者の顔に泥を塗るなど、地域との接点を持つ努力をしている。	○	事業所周辺の住民は高齢者が多く、リサイクル、清掃活動など活発に行われにくい環境にあるとのことだが、これまで以上に地域との連携を深めるためにも、自治会に加入し、情報収集や接点を拡大することを期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 運営者、管理者、職員で意見を出し合い、管理者がまとめている。 <input type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 前回の課題については各フロア会で報告し、話し合っ、改善に取り組んでいるが、課題についての取り組み方針や経過を記録した改善計画が作成されていない。	○	改善計画を作成して取り組むことで、進捗状況や新たな問題点などが明らかとなり、職員も実施目標として進めやすくなるので、改善計画を立て、取り組むことを期待する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。 市からの依頼で、事業所に於ける事例発表を行ったのを契機に、保健師等との交流が深まっている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 家族来訪時には、その日のリーダーが主として対応し、担当者やその他の職員は、普段気の付いたことを「家族との連絡帳」に記録しておき、その内容をリーダーが家族に報告している。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 家族の面会の度に状況を伝えるとともに、毎月発行の「ふれあい」通信にも担当のコメントを入れている。写真は来訪時に希望者に手渡している。 <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 家族からの意見についてはカンファレンスで話し合い、発生要因を探るなどして、改善に取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 4つの事業所間で職員の異動を行っているが、主任や副主任の異動は行っていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取、スムーズに移行できるように配慮している。 異動の内示を1カ月前に行い、引き継ぎ期間を十分取っているため、これまでに利用者に影響を及ぼしたことはない。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 研修の情報は、内部、外部を問わず全職員に周知し、パート職員も含め参加できるようにしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 研修報告書を提出し、フロア会または全体会で報告している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 <input type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。	○	地域の同業者と交流を持つことにより、日々の業務に参考となることも多いので、合同の研修や勉強会を持つなど、積極的に同業者のネットワークを広げる取り組みを期待したい。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	<input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めている。 主にケアマネージャーを通して情報を得ているが、家族や本人からの把握にも努めている。 <input type="checkbox"/> 本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。 家族は必ず来訪しているが、本人が来たことはこれまでにない。 <input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者には、管理者と職員が面接を行っている。 管理者、フロア長或いは課長が面接を行っている。	○	本人の体験や見学は、納得して入居するうえで大切な機会であるので、家族とも話し合いの上、是非実現に向けた取り組みを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日々の生活場面の中で、利用者を支援されるのみの立場にはおいていない。 料理や洗濯物をする時に、「どんなにした方がいいのか」と聞くなど、利用者が支援されるのみの立場にならないよう気を配っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>支援する側、される側という意識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者から生活の技や生活文化の大事さを教えてもらう場面がある。 おせち料理の作り方、昔住んでいた地域のしきたりやお祭りなど、教えてもらう場面が多い。</p>		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。 生活歴やアセスメントの中の情報はもとより、暮らしの中での変化やその時々のおいなど「気づきノート」に記録し、把握に努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。 家族や関係者からは勿論のこと、職員が寄り添って表情などから察知するよう努めている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。 カンファレンスに家族の出席を求め、出席不可能な場合でも要望や意向を電話で聞き、介護計画に反映している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。</p>		
16	37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直しされている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>ワンパターンの期間設定ではなく、本人の状態や計画内容に応じた個別の期間設定をしている。 退院後や計画内容によっては、個別に2週間や1カ月の期間設定を行っている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療処置を受けながら生活が継続ができるように努めている。 家族または事業所で受診対応をしており、困難な場合には、往診での対応をするように支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 重度化した場合や終末期も事業所でケアを提供している。 これまでに事例はないが、入居の際に指針を説明して同意を得るなど、提供できる用意をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 特別な外出、通院や送迎、外泊などの支援を行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。 13人の利用者が入居前の主治医に継続して受診しており、その他にも専門医の受診など、希望する医療機関に受診できる支援をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。 家族からは口頭又は書面で情報を収集し、フロア長が「健康管理ノート」に記録して、全職員に周知している。事業所から家族への報告もしている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	<input checked="" type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期を迎えられるように取り組んでいる。 入院中にレベルダウンした利用者について、家族、医師、職員で話し合いを重ね、安心して納得のいく最期を迎えられるよう取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉かけや対応に配慮している。 さりげなく、誘導や声掛けが行われており、利用者を思いやった姿勢が窺われる。また、紙パンツ使用者が多いにも関わらず、目に付かない場所に収納されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。 個人情報の記録類を鍵つきのキャビネットに収納するなど、外来者に対する配慮も含めプライバシーの保護を徹底している。 <input checked="" type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。 採用時のオリエンテーションはもちろん、フロア会などでも、折に触れ個人情報保護の徹底を図っている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの「その日」にしたいこと(買い物や散歩等)を把握し、それに応じて柔軟に支援している。 どちらからとはなく、誘ったり誘われたりして、散歩に出かけている。買い物等についても、希望があれば柔軟に支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 献立は利用者の好みを取り入れ、食材購入は、2日に一回は利用者と一緒に出かけ、下拵え、盛り付け、配膳、下膳、食器洗いなどは、利用者ができることを一緒にするようにしている。 <input type="checkbox"/> 職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。 職員1人が同じ食事(検食)を食べているが、他の職員は持参の弁当を食べ、介助、見守り、片付けなどをしている。	○	事業所で求められる暮らし方の一つとして、家庭的で和やかな食事風景が挙げられる。皆で同じものを食べ、楽しく食事をする中で、一体感が生まれ、コミュニケーションも弾み、毎日の食事が待ち遠しいものとなる。食事の準備から配膳までせっかく共にしておきながら、支度ができた後は別々ということ、家庭的とはほど遠いものとなるので、見直しを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
23	57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。</p> <p>夜間浴を希望する利用者にも、職員の勤務体制を整えて無理のない対応をしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。</p> <p>入浴を拒否する利用者に対しては、併設のデイサービスの大きな浴槽を借りて入浴するなどの工夫をしている。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握している。</p> <p>野菜作り、水やり、洗濯物たたみなどのほか、コーヒーを入れて一緒に楽しむなど、生活習慣、能力、希望等の理解に努め、その人の楽しみ事や役割を見出し支援している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。</p> <p>字の上手な人には「今日の献立」を書いてもらうなど、利用者ができる事を導き出し、電灯管理、カレンダーめくり、運営推進員など、一人ひとりが役割を担えるよう働きかけをしている。</p>		
25	61	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。</p> <p>散歩には日常的に出掛け、行きつけの喫茶店、美容院、図書館などへの外出支援もしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>歩行困難なケースでも、車や車椅子等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。</p> <p>普段の日は散歩や買い物、日曜日には花街道やわんぱく高知へドライブに出かけ、季節のイベントには弁当持参で出かけている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 外出する利用者の行動パターンは把握しており、そつと付いて外出するなどして対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 地域の民生委員会や住民との交流の中で理解を求めている。		
27	71	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的実施している。 <input type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。	○	非常用食料の備蓄を早急に検討することを望む。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 全員の食事、水分摂取量はチェック表で把握している。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 昼食はデイサービスの給食室から配膳されているが、朝、夕食はユニットごとに利用者の好みを取り入れて、栄養面にも配慮した多彩な献立になっている。 <input type="checkbox"/> 定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。	○	1日の栄養摂取量、栄養バランス等について、栄養士又は保健師に定期的にチェックをもらうことが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。</p> <p>アルバム、絵本、編物道具、遊具、花鉢などが、整理棚の目に付くところに取りやすいように置かれ、屋内の換気もよく利かせ、トイレ、浴場も清潔に保たれている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気壊していない。</p> <p>居室前には手作りの表札が掛けられ、食堂兼フロアの装飾も程よく家庭的な雰囲気を保っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。</p> <p>梅の花や柳の坊主などの活け花、雛祭りの段飾りや雛人形の折り紙などの季節の飾り、ガラス窓越しに見える庭の春の気配など、季節感が漂っている。</p>		
30	83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫している。</p> <p>使い慣れたテーブル、椅子、筆筒などのほか、引き伸ばして飾っている記念写真に家族の協力が窺える。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組まれている。</p> <p>協力を得られない場合でも、表彰状、壁の装飾、電灯に取り付けた手製の紐など、居心地の良い居室づくりの工夫がみられる。</p>		